

4 事業別経営状況

平成21年度末における地方公営企業の数は法適用企業で水道事業、病院事業等4種61事業、また、法非適用企業で簡易水道事業、下水道事業等7種143事業となっている。

以下、各事業の経営状況について順次概説する。

(1)水道事業

ア 事業数及び職員数

平成21年度において地方公共団体が経営する水道事業は43事業で前年度と同数となっている。また、職員数は845人で、前年度より35人減っている。

規模別にみると、給水人口が1.5万人未満の事業が2事業(構成比4.6%)及び1.5万人以上3万人未満の事業が10事業(構成比23.3%)となっており、これら給水人口3万人未満の小規模の水道事業が全体の27.9%を占めている。

次に、市町村の水道事業着手状況は、平成21年度末で、全44市町村(市町村営によるもの41団体、企業団営によるもの2団体)となっている。

給水人口段階区分別事業数

項目	給水人口段階区分						計
	15万人以下	10万人以上15万人未満	5万人以上10万人未満	3万人以上5万人未満	1.5万人以上3万人未満	1.5万人未満	
事業数	5	2	8	16	10	2	43
構成比(%)	11.6	4.7	18.6	37.2	23.3	4.6	100

イ 利用状況

水道事業の給水人口は、平成21年度末で、2,667千人になっており、前年度の2,656千人に比べ11千人増になっている。

また、水道事業を経営している市町村の行政区域内人口に対する普及率は84.2%であり、計画給水人口に対する普及率は85.2%である。

さらに、平成21年度の年間総有収水量は278,115千m³で、前年度の278,528千m³に比べ413千m³の減少となっており、給水人口1人1日当たり平均給水量(使用水量)は286ℓで前年度と比べると1ℓの減少となっている。

水道事業の建設投資額は、平成21年度においては195億24百万円であり、前年度と比べ15億70百万円の増となっている。

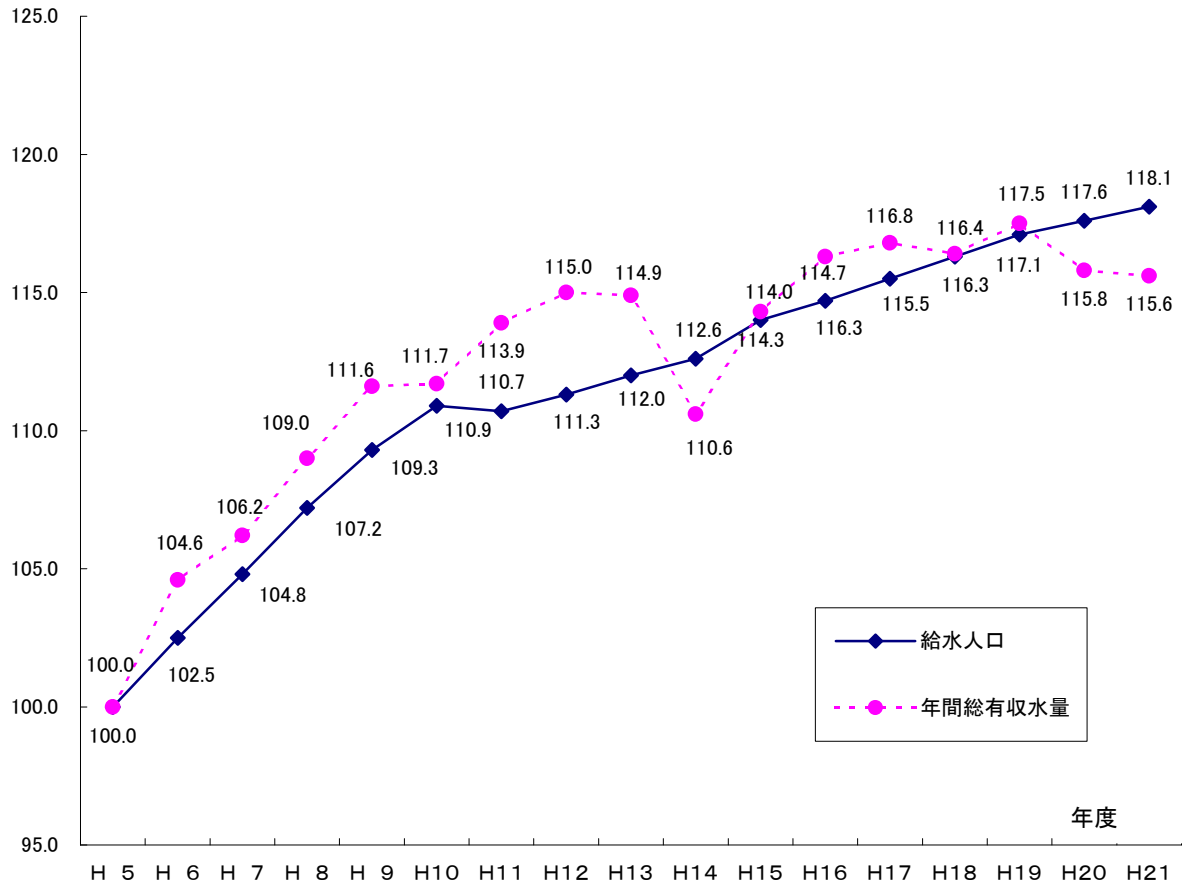
水道事業の施設及び利用状況

		平成21年度	平成20年度	対前年度比(%)
行政区域内人口	(人)A	3,167,984	3,174,900	99.8
計画給水人口	(人)B	3,130,920	3,222,300	97.2
現在給水人口	(人)C	2,666,715	2,655,712	100.4
普及率	C/A×100	84.2%	83.6%	100.7
	C/B×100	85.2%	82.4%	103.4
配水管延長	(km)	21,325.72	21,017.00	101.5
配水能力	(m ³ /日)D	1,350,405	1,360,081	99.3
1人1日平均有収水量	(ℓ) F/365日/C	286	287	99.7
年間総配水量	(千m ³)E	312,552.66	312,808.24	99.9
年間総有収水量	(千m ³)F	278,114.81	278,528.15	99.9
有収率	(%) F/E×100	89.0	89.0	100.0
施設利用率	(%) $\frac{1日平均配水量}{1日配水能力} \times 100$	63.4	62.8	101.0
負荷率	(%) $\frac{1日平均配水量}{1日最大配水量} \times 100$	86.7	85.6	101.3
最大稼働率	(%) $\frac{1日最大配水量}{1日配水能力} \times 100$	73.1	73.4	99.6

水道事業における給水人口・給水量の推移

区分 年度	給水人口 (千人)	年間総有収水量 (千m ³)	5年度を100とした場合		1人1日当たり 使用量 (ℓ)
			給水人口	年間総有収水量	
H 5	2,258	240,582	100.0	100.0	292
H 6	2,314	251,702	102.5	104.6	298
H 7	2,367	255,426	104.8	106.2	296
H 8	2,420	262,134	107.2	109.0	297
H 9	2,467	268,410	109.3	111.6	298
H10	2,505	268,710	110.9	111.7	294
H11	2,500	273,976	110.7	113.9	300
H12	2,513	276,787	111.3	115.0	302
H13	2,528	276,324	112.0	114.9	299
H14	2,543	266,170	112.6	110.6	287
H15	2,573	274,955	114.0	114.3	293
H16	2,591	279,735	114.7	116.3	296
H17	2,609	280,934	115.5	116.8	295
H18	2,625	280,151	116.3	116.4	292
H19	2,644	282,593	117.1	117.5	292
H20	2,656	278,528	117.6	115.8	287
H21	2,667	278,115	118.1	115.6	286

水道事業の進展状況 (H5年度=100)



ウ 経営状況

a) 損益状況

水道事業の総収益は592億11百万円(前年度599億37百万円)、総費用は572億97百万円(前年度583億48百万円)となっている。経常収支比率は103.7%で収支均衡を維持しており、前年度の103.1%から0.6ポイント増加している。

経常利益を生じた事業は、31事業(前年度33事業)で、経常利益額は30億73百万円で前年度の28億80百万円に比べ1億93百万円増加している。一方、経常損失を生じた事業は12事業(前年度10事業)で、経常損失額は9億59百万円と、前年度の10億89百万円に比べ1億30百万円減少した。

また、累積欠損金を有する事業は7事業(前年度8事業)で、累積欠損金の額は76億37百万円と、前年度の70億71百万円に比べ5億66百万円増加している。

b) 資本収支

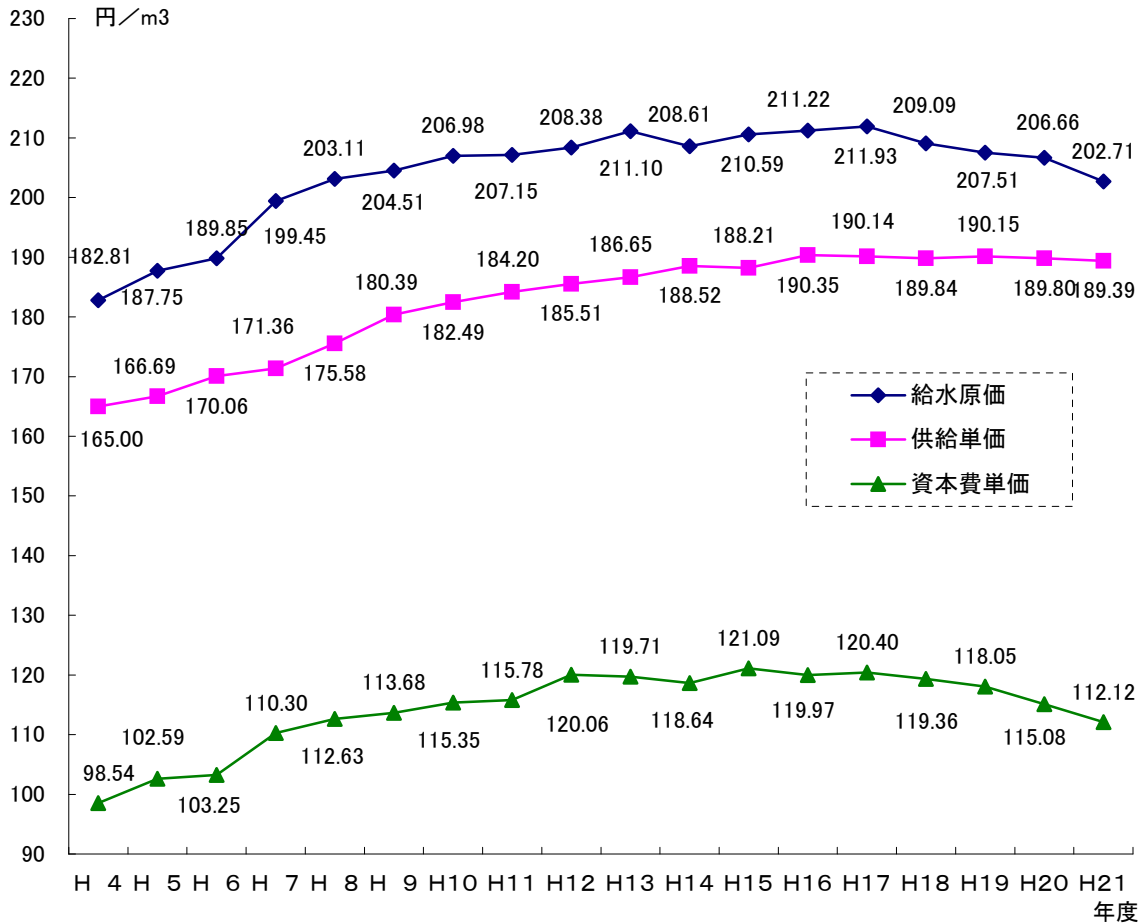
平成21年度の資本的支出は411億24百万円で、前年度の483億69百万円に比べ、72億45百万円減少している。この内訳は、建設改良費195億24百万円(前年度179億54百万円)、企業債償還金214億72百万円(前年度300億18百万円)、その他1億28百万円となっている。これに対する財源は、企業債が161億72百万円(前年度231億78百万円)、他会計繰入金が18億74百万円(前年度15億26百万円)となっている。

c) 給水原価及び料金の状況

平成21年度における給水量1m3当たりの給水原価は202円71銭で、前年度の206円66銭に比べ3円95銭低くなっている。

また、供給単価は189円39銭で、前年度の189円80銭と比べ41銭低くなっており、給水原価と供給単価の差は13円32銭(前年度16円86銭)となっている。

1m3当たりの資本費単価，給水原価，供給単価の推移

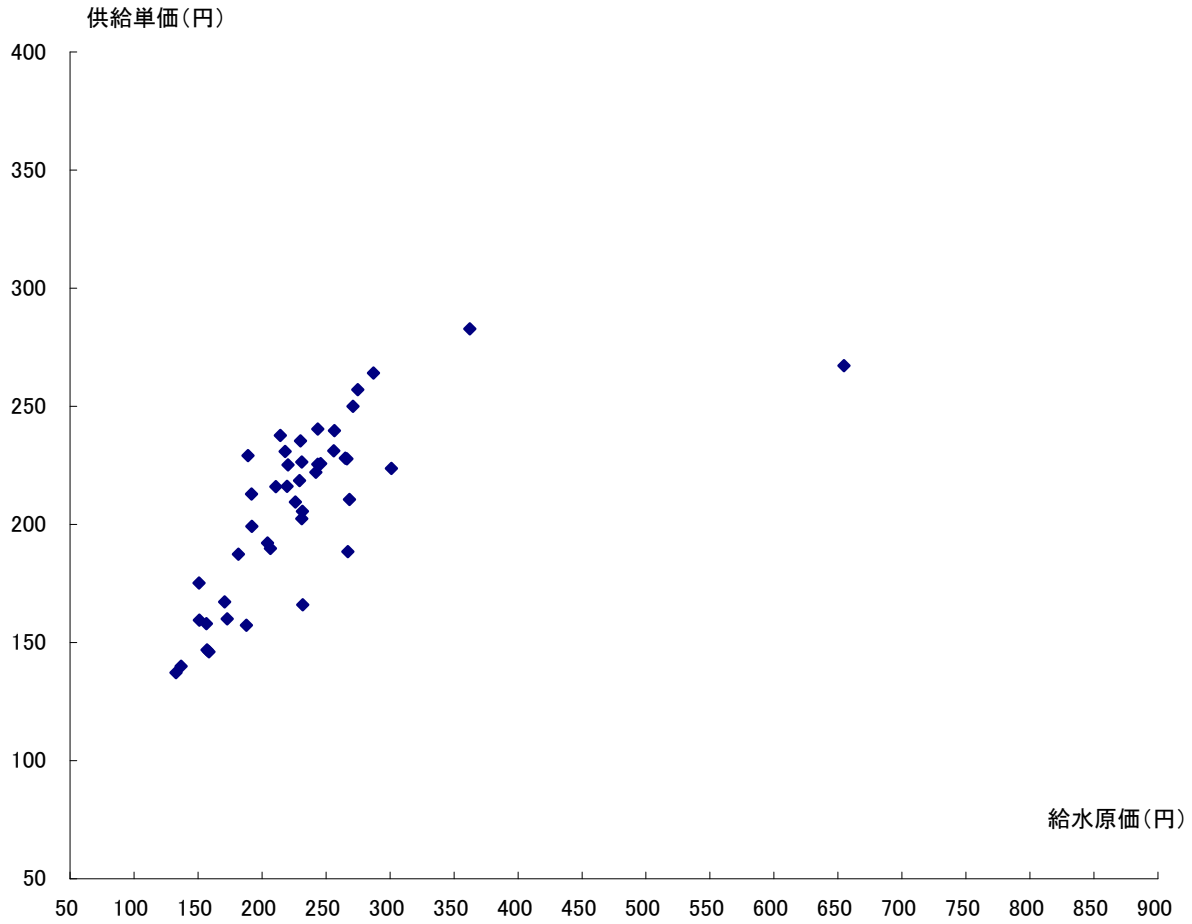


$$\text{◆ 給水原価 (円/m}^3\text{)} = \frac{\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{附帯事業費} + \text{材料及び不用品売却原価})}{\text{年間総有収水量}}$$

$$\text{■ 供給単価 (円/m}^3\text{)} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$$

$$\text{▲ 資本費単価 (円/m}^3\text{)} = \frac{\text{減価償却費} + \text{企業債利息} + \text{受水資本費相当額}}{\text{年間総有収水量}}$$

水道事業1m3当りの単価



(表番)	団体名	(供給単価)	(給水原価)
1	水戸市	139.96	136.81
2	日立市	146.91	157.05
3	土浦市	237.66	214.29
4	古河市	137.27	132.75
5	石岡市	239.73	256.61
6	結城市	187.36	181.59
7	下妻市	223.77	301.06
8	常総市	227.79	266.19
9	常陸太田市	157.29	187.79
10	高萩市	160.06	172.68
11	北茨城市	159.43	150.94
12	笠間市	222.13	242.01
13	つくば市	165.98	231.70
14	ひたちなか市	158.05	156.50
15	鹿嶋市	249.97	271.16
16	潮来市	226.46	231.09
17	守谷市	192.08	204.30
18	常陸大宮市	216.04	210.69
19	那珂市	199.15	192.14
20	筑西市	225.50	243.54
21	坂東市	231.14	256.01
22	稲敷市	264.05	287.17

(表番)	団体名	(供給単価)	(給水原価)
23	かすみがうら市	225.85	246.46
24	桜川市	281.41	359.53
25	神栖市	226.58	252.98
26	行方市	214.43	225.34
27	鉾田市	262.77	634.37
28	つくばみらい市	231.37	223.39
29	小美玉市	188.24	161.59
30	茨城町	225.01	205.95
31	大洗町	166.37	173.29
32	城里町	188.15	248.23
33	東海村	146.40	160.73
34	大子町	213.19	186.93
35	美浦村	233.34	253.61
36	阿見町	232.47	204.83
37	河内町	240.85	247.33
38	八千代町	256.30	232.83
39	五霞町	211.06	281.36
40	境町	200.56	222.11
41	利根町	228.62	194.44
42	茨城県南水道企業団	207.68	218.74
43	湖北水道企業団	218.04	233.16
県平均		189.39	202.71

(2)簡易水道事業

ア 事業数等

法非適用の簡易水道事業は、前年度同様5事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支の総収益は7億25百万円で、前年度(8億25百万円)に比べ1億円減少しており、総費用は5億39百万円で前年度(6億20百万円)に比べ81百万円減少している。

資本的支出は14億17百万円(前年度13億60百万円)で、うち建設改良費が8億42百万円(前年度6億4百万円)、地方債償還金が5億75百万円(前年度7億55百万円)となっており、これに対する資本的収入は13億14百万円(前年度11億21百万円)で、うち地方債が5億75百万円(前年度7億15百万円)、他会計繰入金が6億69百万円(前年度3億48百万円)となっている。

実質収支をみると、5事業は全て黒字であり、黒字額は30百万円で、前年度(50百万円)に比べ20百万円の減となっている。

法非適用簡易水道事業の経営状況

(単位:千円)

項目		年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	対前年度比 (%)
収益的 収支	総収益(A)		742,477	764,416	740,027	750,984	824,785	724,793	87.9
	営業収益(B)		608,430	591,469	584,490	588,545	545,366	538,182	98.7
	うち料金収入		582,545	587,446	579,557	585,137	542,525	534,263	98.5
	他会計繰入金		93,179	159,906	146,653	154,996	270,101	170,329	63.1
	総費用(C)		673,012	651,763	643,803	645,219	619,679	538,732	86.9
	営業費用		484,654	463,778	461,208	472,964	480,637	430,274	89.5
	うち職員給与費		149,144	173,202	172,749	155,785	141,348	131,292	92.9
収支差引		69,465	112,653	96,224	105,765	205,106	186,061	90.7	
資本的 収支	資本的収入		770,439	593,171	766,598	945,307	1,121,237	1,314,014	117.2
	地方債		271,700	203,400	239,800	331,400	714,900	575,000	80.4
	他会計繰入金		314,627	276,525	416,477	541,210	348,250	669,173	192.2
	資本的支出		902,016	695,961	831,632	1,056,190	1,359,953	1,416,754	104.2
	建設改良費		688,637	430,829	541,572	430,014	604,471	841,674	139.2
	地方債償還金(D)		213,379	265,132	290,060	626,176	755,482	575,080	76.1
	収支差引		△ 131,577	△ 102,790	△ 65,034	△ 110,883	△ 238,716	△ 102,740	△ 43.0
実質収支 (E)	黒字		102,983	119,470	134,869	123,010	49,666	29,614	59.6
	赤字(△)		—	—	—	—	—	—	—
収益的収 支比率 (%)	$\frac{(A)}{(C)+(D)} \times 100$		83.8	83.4	79.2	59.1	60.0	65.1	108.5
赤字比率 (%)	$\frac{(E)}{(B)} \times 100$		—	—	—	—	—	—	—
総事業数			6	6	6	6	5	5	100.0
収益的収支で赤字を生じた事業数			1	—	—	1	2	2	100.0
実質収支で赤字を生じた事業数			—	—	—	—	—	—	—

(3) 工業用水道事業

ア 事業数等

平成 21 年度における工業用水道事業の数(施設数)は前年度と同数の 9(11) 事業となっている。給水先事業所数は 60 事業所であり前年度と比べると 5 事業所減少している。年間総配水量は 16,984 千m³ で、前年度の 17,542 千m³ に比べ 558 千m³ の減少となっている。

なお、施設利用率(一日平均配水量÷配水能力×100)についても 59.2%で前年度より 1.9ポイント減少している。

イ 経営状況

平成 21 年度経常収益は 7 億 98 百万円(前年度 7 億 82 百万円)、経常費用は 7 億 5 百万円(前年度 7 億 81 百万円)となっており、経常収支比率は 113.2%で、前年度の 100.1%に比べ 13.1ポイント増加している。

(4) 病院事業

ア 事業数等

平成 21 年度において地方公共団体が経営する病院事業の数は前年度と同数の 7 事業で、全て一般病院である。

病床数は 920 床で前年度から 4 床減少しており、病床利用率(年延入院患者数÷年延病床数×100)も 42.8%で、前年度の 43.2%に比べ 0.4ポイント下回っている。なお、病床利用率が 70%を上回っている病院はない状況。

年間延入院患者は 144 千人で前年度の 146 千人に比べ 2 千人減少し、年間延外来患者数は 448 千人で前年度の 469 千人に比べ 21 千人減少している。また、一日平均患者数は入院 394 人(前年度 399 人)、外来 1,630 人(前年度 1,712 人)となっている。

イ 経営状況

a) 損益状況

経常収益は 101 億 91 百万円で、前年度の 105 億 77 百万円に比べ 3 億 86 百万円減少し、経常費用は 107 億 28 百万円で前年度の 111 億 25 百万円に比べ 3 億 97 百万円減少している。経常収支比率は 95.0%で前年度の 95.1%に比べ 0.1ポイント減少している。

経常利益を生じた事業は昨年度と同数の 3 事業であるが、金額は 42 百万円で前年度の 74 百万円に比べ 32 百万円減少している。一方、経常損失を生じた事業は 4 事業で昨年度より 1 事業増となっているが、金額は 5 億 79 百万円と、前年度の 6 億 23 百万円に比べ 44 百万円減少している。

b) 資本収支

資本的支出は 5 億 28 百万円で、前年度の 6 億 36 百万円に比べ 1 億 8 百万円減少している。

資本的支出の内訳は、企業債償還金 3 億 18 百万円(60.2%)、建設改良費 2 億 9 百万円(39.6%)となっている。これに対する財源は、他会計繰入金 4 億 43 百万円、企業債 22 百万円、国県補助金 7 百万円となっている。

c) 医業収益

医業収益 83 億 30 百万円で、前年度の 85 億 67 百万円に比べ 2 億 37 百万円減少している。

患者一人当たりの診療収入は、入院収益 29,840 円(前年度 29,285 円)、外来収益 7,317 円(前年度 7,649 円)となっており、前年度に比べ入院収益で 1.9%の増、外来収益で 4.3%の減となっている。

d) 医業費用

医業費用は104億36百万円で、前年度の108億14百万円に比べ3億78百万円減少している。

医業費用の内訳は、職員給与費が49億68百万円で、前年度の52億46百万円に比べ2億78百万円減少し、費用に占める割合も47.6%で前年度48.5%に比べ0.9ポイント減少している。

医療材料費は18億3百万円で、前年度の19億22百万円に比べ1億19百万円減少しており、費用に占める割合は17.3%と前年度の17.8%に比べ0.5ポイント下回っている。

また、医業収益に対する職員給与費の割合は59.6%と前年度の61.2%に比べ1.6ポイント下回っている。

e) 他会計繰入金

一般会計からの繰入金は収益的収入に対して26億2百万円、資本的収入に対して4億43百万円で合計30億45百万円となっており、前年度の28億44百万円に比べ2億1百万円増加している。

なお、収益的収入への繰入金は、経常収益に対し25.5%で前年度の22.3%に比べ3.2ポイント上回っている。

(5) 下水道事業

ア 事業数等

平成21年度における下水道事業の数は103事業(法適用企業2事業, 法非適用企業101事業)で, 前年度と同数となっている。

また, このうち供用中は101事業で, 建設中は2事業となっている。

下水道事業の事業数

	法適用企業		法非適用企業							合計
	公共下水道	計	公共下水道	特定公共	特定環境保全	農業集落排水	漁業集落排水	特定地域生活排水	計	
平成20年度	2	2	42	1	20	31	1	6	101	103
うち建設中			2						2	2
平成21年度	2	2	42	1	20	31	1	6	101	103
うち建設中			2						2	2

イ 経営状況

平成21年度の法適用企業と法非適用企業を合計した総収益は551億73百万円で, 前年度538億25百万円に比べ13億48百万円増加している。一方, 総費用は388億36百万円で, 前年度400億10百万円に比べ11億74百万円減少している。

この結果, 全体の収支(法適用企業は純損益, 法非適用企業は実質収支)は28億3百万円の黒字となっており, 前年度25億94百万円と比べ2億9百万円増加している。

下水道事業の収支状況

(単位:千円)

	平成21年度			平成20年度		
	法適用企業	法非適用企業	合計	法適用企業	法非適用企業	合計
(事業数)	(2)	(99)	(101)	(2)	(99)	(101)
黒字額	331,372	2,471,426	2,802,798	339,107	2,254,402	2,593,509
(事業数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
赤字額	0	0	0	0	0	0
(事業数)	(2)	(99)	(101)	(2)	(99)	(101)
収支	331,372	2,471,426	2,802,798	339,107	2,254,402	2,593,509

(注) 1. 事業数は, 建設中の事業を除く。

2. ここでいう黒字・赤字の判断は, 法適用企業にあつては純損益, 法非適用企業にあつては実質収支による。

①公共下水道事業(法適)

ア 事業数等

法適用の公共下水道事業数は2事業で、日立市の公共下水道事業が昭和61年度から、守谷市の公共下水道事業が平成17年度から法適用企業に移行し、事業を実施している。

普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)は80.6%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇している。

イ 経営状況

経常収益は48億35百万円(前年度49億94百万円)、経常費用が45億1百万円(46億52百万円)となっており、経常収支比率は107.4%と前年度に比べ0.1ポイント上回っている。

法適用公共下水道事業の普及状況

項目 年度	行政区域内人口 A (人)	処理区域内人口 B (人)	市街地面積 C (ha)	処理区域内面積 D (ha)	普及率(%)		年間総処理水量 (千m3)	有収率 (%)
					B/A	D/C		
H17	258,539	205,485	5,621	5,699	79.5	101.4	32,816	83.3
H18	258,791	206,304	5,621	5,706	79.7	101.5	33,516	80.9
H19	258,747	207,314	5,621	5,726	80.1	101.9	33,424	82.4
H20	259,266	208,751	5,621	5,746	80.5	102.2	33,593	82.4
H21	260,054	209,637	5,621	5,746	80.6	102.2	33,349	83.1

※有収率＝年間有収水量÷年間総処理水量×100

②公共下水道事業(法非適)[公共下水道事業の他, 特定環境保全公共下水道事業を含む]

ア 事業数等

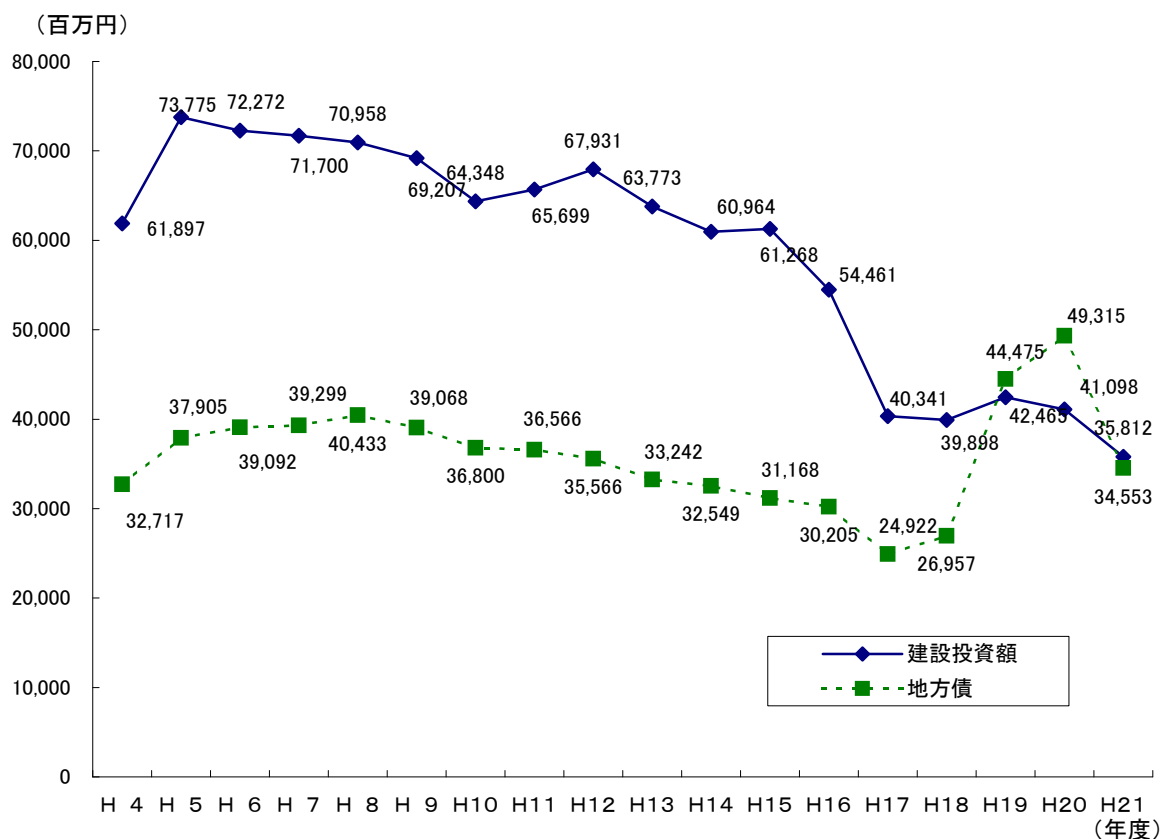
法非適用の公共下水道事業(公共, 特定環境保全。特定公共を除く。)は62事業で, 前年度と同数となっている。既に供用開始している事業についてその内容をみると, 平成21年度における下水道事業の処理区域面積は44,732ha(前年度42,919ha)で, 処理区域内人口は1,478千人(前年度1,419千人)となっている。

下水道事業の建設投資額は358億2百万円で前年度(410億98百万円)に比べ52億86百万円(12.9%)減少している。

法非適用公共下水道事業の普及状況

項目 年度	行政区内人口 A (人)	処理区域内人口 B (人)	市街地面積 C (ha)	処理区域内面積 D (ha)	普及率(%)		年間総処理水量 (千m ³)	有収率 (%)
					B/A	D/C		
H17	3,142,266	1,321,491	43,942	38,965	42.1	88.7	163,478	82.6
H18	3,142,266	1,353,756	43,647	40,231	43.1	92.2	178,204	77.4
H19	3,141,407	1,391,836	44,171	41,700	44.3	94.4	169,737	83.4
H20	3,141,300	1,419,482	44,171	42,919	45.2	97.2	177,720	80.0
H21	3,138,943	1,477,760	44,193	44,732	47.1	101.2	178,968	81.3

法非適用公共下水道の建設投資額及び地方債の推移



イ 経営状況

収益的収支のうち総収益は451億34百万円で、前年度(438億84百万円)に比べ12億50百万円増加している。このうち他会計繰入金は230億88百万円(前年度226億59百万円)に達し、全体の51.2%(前年度51.6%)を占めている。総費用は303億2百万円で、前年度(312億32百万円)に比べ9億30百万円減少している。

また、資本的支出は745億65百万円(前年度890億7百万円)で、うち建設改良費が358億12百万円(前年度410億98百万円)、地方債償還金が383億35百万円(前年度475億63百万円)となっており、これに対する資本的収入は602億87百万円(前年度759億78百万円)で、うち地方債が345億53百万円(前年度493億15百万円)、他会計繰入金が99億24百万円(前年度105億8百万円)となっている。

実質収支は62事業が黒字で、黒字額は20億7百万円(前年度18億2百万円、11.4%増)となっている。

法非適用公共下水道事業の経営状況

(単位:千円)

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	対前年度比 (%)
収益的 収支	総収益(A)	35,680,167	35,239,036	41,027,137	43,659,928	43,883,682	45,134,097	102.8
	営業収益(B)	21,337,422	20,770,288	21,905,286	23,170,982	23,396,232	24,056,011	102.8
	うち料金収入	18,919,581	18,298,023	19,621,422	20,745,354	20,946,964	21,800,762	104.1
	他会計繰入金	13,778,724	16,424,472	21,223,340	22,697,896	22,659,338	23,087,650	101.9
	総費用(C)	33,469,461	33,319,875	32,627,802	32,681,671	31,232,080	30,301,758	97.0
	営業費用	15,482,725	15,749,244	15,476,253	15,889,550	15,894,014	16,080,940	101.2
	うち職員給与費	2,234,435	2,290,456	2,249,471	2,167,191	2,067,068	1,962,309	94.9
収支差引	2,210,706	1,919,161	8,399,335	10,978,257	12,651,602	14,832,339	117.2	
資本的 収支	資本的収入	75,610,345	62,764,062	55,786,775	71,620,124	75,978,299	60,286,501	79.3
	地方債	30,205,280	24,922,255	26,957,257	44,475,103	49,315,414	34,552,940	70.1
	他会計繰入金	20,015,011	19,082,007	12,577,913	10,960,324	10,508,192	9,923,869	94.4
	資本的支出	78,082,458	64,216,689	64,393,401	82,338,243	89,007,150	74,564,736	83.8
	建設改良費	54,460,635	40,341,483	39,897,938	42,464,742	41,098,116	35,811,805	87.1
	地方債償還金(D)	22,901,617	23,465,700	24,045,058	39,546,602	47,563,132	38,335,113	80.6
	収支差引	△ 2,472,113	△ 1,452,627	△ 8,606,626	△ 10,718,119	△ 13,028,851	△ 14,278,235	109.6
実質収支 (E)	黒字	2,651,781	2,473,889	1,824,957	1,867,217	1,802,335	2,007,089	111.4
	赤字(△)	-	-	-	12,575	-	-	-
収益的収支 比率(%)	(A) ×100	63.3	62.1	72.4	60.4	55.7	65.8	118.1
	(C)+(D)							
赤字比率 (%)	(E) ×100	-	-	-	0.0	-	-	-
	(B)							
総事業数		74	62	62	62	62	62	100.0
収益的収支で赤字を生じた事業数		9	8	2	1	1	2	200.0
実質収支で赤字を生じた事業数		-	-	-	1	-	-	-

ウ 使用料単価と汚水処理原価の状況

使用料単価は149円78銭で、前年度(147円31銭)に比べ2円47銭高くなっている。

一方、汚水処理原価は211円17銭で、前年度(216円71銭)に比べ5円54銭低くなっている。また内訳をみると、維持管理分は104円51銭で、前年度(105円71銭)に比べ1円20銭低くなっており、資本費分は106円66銭で、前年度(111円00銭)に比べ4円34銭低くなっている。

法非適用公共下水道事業における汚水処理原価と使用料単価との比率

(単位:円, 銭)

項目	年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21
使用料単価	A	134.46	135.56	142.29	146.57	147.31	149.78
汚水処理原価	B	321.73	343.20	258.17	224.24	216.71	211.17
内	維持管理費分	100.77	108.97	105.84	106.45	105.71	104.51
訳	資本費分	220.96	234.23	152.33	117.79	111.00	106.66
A - B		△ 187.27	△ 207.64	△ 115.89	△ 77.66	△ 69.40	△ 61.39
経費回収率 A / B × 100 (%)		41.8	39.5	55.1	65.4	68.0	70.9

$$\text{○使用料単価(円/㎡)} = \frac{\text{料金収入}}{\text{年間有収水量}}$$

$$\text{○汚水処理原価(円/㎡)} = \frac{\text{汚水処理費}}{\text{年間有収水量}}$$

(※)汚水処理費 = 汚水に係る維持管理費 + 資本費

③特定公共下水道(法非適)

ア 事業数等

法非適用の特定公共下水道事業は、前年度と同数の1事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支のうち総収益は42百万円で、前年度(68百万円)に比べ26百万円減少している。総費用は74百万円で、前年度(76百万円)に比べ2百万円減少している。

また、資本的支出は1億70百万円(前年度90百万円)で、うち建設改良費が1億69百万円(前年度90百万円)となっている。これに対する資本的収入は1億61百万円(前年度1億64百万円)で、うち地方債が65百万円(前年度35百万円)となっている。

実質収支は黒字で、黒字額は1百万円(前年度2百万円, 50.0%減)となっている。

④農業集落排水施設事業(法非適)

ア 事業数等

法非適用の農業集落排水施設事業は、前年度と同数の31事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支のうち総収益は49億76百万円で、前年度(47億13百万円)に比べ2億63百万円増加している。このうち他会計繰入金は30億99百万円(前年度29億12百万円)で、全体の62.3%(前年度61.8%)を占めている。総費用は38億11百万円で、前年度(39億16百万円)に比べ1億5百万円減少している。

また、資本的支出は97億25百万円(前年度107億6百万円)で、うち建設改良費が68億46百万円(前年度76億48百万円)、地方債償還金が28億1百万円(前年度29億88百万円)となっており、これに対する資本的収入は89億55百万円(前年度101億8百万円)で、うち地方債が36億93百万円(前年度42億64百万円)、他会計繰入金が18億13百万円(前年度18億91百万円)となっている。

実質収支は全事業で黒字で、黒字額は4億36百万円(前年度4億28百万円, 1.9%増)となっている。

⑤漁業集落排水施設事業(法非適)

ア 事業数等

法非適用の漁業集落排水施設事業は、前年度と同数の1事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支のうち総収益は41百万円で、前年度(40百万円)に比べ1百万円増加している。このうち他会計繰入金は22百万円(前年度21百万円)で、全体の52.7%(前年度52.5%)を占めている。総費用は31百万円で、(前年度31百万円)と同規模となっている。

また、資本的支出は14百万円(前年度15百万円)で、うち地方債償還金が14百万円(前年度15百万円)となっており、これに対する資本的収入は5百万円(前年度6百万円)で、うち他会計繰入金が5百万円(前年度6百万円)となっている。

実質収支は黒字で、黒字額は2百万円(前年度1百万円, 50.0%増)となっている。

⑥特定地域生活排水事業(法非適)

ア 事業数等

法非適用の特定地域生活排水事業は、前年度と同数の6事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支のうち総収益は1億45百万円で、前年度(1億27百万円)に比べ18百万円増加している。このうち他会計繰入金は67百万円(前年度54百万円)で、全体の46.4%(前年度42.5%)を占めている。総費用は1億15百万円で、前年度(1億1百万円)に比べ14百万円増加している。

また、資本的支出は3億39百万円(前年度2億77百万円)で、うち建設改良費が3億21百万円(前年度2億65百万円)、地方債償還金が18百万円(前年度12百万円)となっており、これに対する資本的収入は3億37百万円(前年度2億69百万円)で、うち地方債が1億48百万円(前年度1億33百万円)、他会計繰入金が45百万円(前年度23百万円)となっている。

実質収支は全事業で黒字で、黒字額は26百万円(前年度21百万円、23.8%増)となっている。

(6) 市場事業

ア 事業数等

法非適用の市場事業は、前年度と同数の7事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支の総収益は9億51百万円で前年度(10億52百万円)に比べ1億1百万円減少しており、総費用は7億34百万円で前年度(7億93百万円)に比べ59百万円減少している。

資本的支出は5億40百万円(前年度3億57百万円)で、うち建設改良費が86百万円(前年度48百万円)、地方債償還金が4億54百万円(前年度3億9百万円)となっており、これに対する資本的収入は2億98百万円(前年度1億36百万円)で、うち他会計繰入金金が2億98百万円(前年度1億36百万円)となっている。

実質収支をみると、7事業は全て黒字であり、黒字額は44百万円で、前年度(33百万円)に比べ11百万円の増となっている。

(7) 観光施設事業

ア 事業数等

法非適用の観光施設事業は、2事業(前年度3事業)となっている。

イ 経営状況

収益的収支の総収益は5億1百万円で前年度(5億67百万円)に比べ66百万円減少しており、総費用は2億77百万円で前年度(3億50百万円)に比べ73百万円減少している。

資本的支出は3億55百万円(前年度4億45百万円)で、うち建設改良費が1億31百万円(前年度1億62百万円)、地方債償還金が2億24百万円(前年度2億84百万円)となっており、これに対する資本的収入は1億31百万円(前年度1億42百万円)で、うち他会計繰入金金が1億31百万円(前年度77百万円)となっている。

実質収支は、2事業とも黒字であり、黒字額0.2百万円(前年度1百万円黒字)となっている。

(8) 宅地造成事業

ア 事業数等

法非適用の宅地造成事業は、前年度から1事業増えて18事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支の総収益は23億39百万円で前年度(34億62百万円)に比べ11億23百万円減少しており、総費用は6億59百万円で前年度(6億34百万円)に比べ25百万円増加している。

資本的支出は55億2百万円(前年度58億87百万円)で、うち建設改良費が32億31百万円(前年度31億57百万円)、地方債償還金が19億17百万円(前年度20億99百万円)となっており、これに対する資本的収入は40億54百万円(前年度41億5百万円)で、うち地方債が10億31百万円(前年度7億32百万円)、他会計繰入金金が26億14百万円(前年度23億75百万円)となっている。

実質収支をみると、18事業は全て黒字であり、黒字額は24億74百万円で、前年度(25億9百万円)に比べ35百万円の減となっている。

(9) 駐車場事業

ア 事業数等

法非適用の駐車場事業は、前年度と同数の5事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支の総収益は4億17百万円で前年度(11億75百万円)に比べ7億59百万円減少しており、総費用は1億71百万円で前年度(2億46百万円)に比べ75百万円減少している。

資本的支出は5億64百万円(前年度10億94百万円)で、うち地方債償還金が3億43百万円(前年度10億94百万円)となっており、これに対する資本的収入は3億46百万円(前年度1億84百万円)で、うち他会計繰入金が1億46百万円(前年度1億84百万円)となっている。

実質収支をみると、5事業は全て黒字であり、黒字額は31百万円で、前年度(25百万円)に比べ6百万円の増となっている。

(10) 介護サービス事業

ア 事業数等

法非適用の介護サービス事業は、前年度と同数の5事業となっている。

イ 経営状況

収益的収支の総収益は9億98百万円で前年度(10億48百万円)に比べ5百万円減少しており、総費用は9億97百万円で前年度(10億30百万円)に比べ33百万円減少している。

資本的支出は24百万円(前年度23百万円)で、うち地方債償還金が24百万円(前年度23百万円)となっており、これに対する資本的収入は24百万円(前年度23百万円)で、うち他会計繰入金が24百万円(前年度23百万円)となっている。

実質収支をみると、5事業は全て黒字であり、黒字額は4百万円で、前年度(56百万円)に比べ52百万円の減となっている。